

第29回海洋開発シンポジウム

2004年7月7日 [水] - 8日 [木]

下記のように第29回海洋開発シンポジウムを開催致しますので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 主催：(社)土木学会 (担当：海洋開発委員会)
 2. 期日：2004年7月7日(水)～8日(木)の2日間
 3. 場所：沖縄コンベンションセンター
沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1 TEL：(098)898-3000，
<http://www.oki-conven.jp/xenf/index.asp>
 4. 参加方法：参加無料(事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場下さい。)
 5. 論文集：論文集は、事前販売のみとし、会場では販売いたしません。
購入希望の方は、必ず事前購入をお願いします。
* 論文集の購入申込方法は、<http://www.cv-ocean/ocean.htm>からお願いします。
価格：6,300円(税込、送料別)
購入申込期限は、6月22日(火) 17：00 [厳守]
論文集は、請求書類を同封して、6月末に発送します。
 6. 問合せ先：土木学会・研究事業課 (担当：磯崎)
TEL：03-3355-3559 メール：isozaki@jsce.or.jp
 7. 発表時間：1論文17分(発表12分，討議5分)
 8. 懇親会：(1) 日時：7月7日(水) 19：30～21：00
(2) 会場：ラグナガーデンホテル
(3) 参加費：7,000円
 9. 見学会：(1) 日時：7月8日(木) 9：00～12：30
(2) コース：コンベンションセンター 那覇新港埠頭 那覇
沈埋三重城立坑(海底トンネル,展示館) 波の上ビーチ コンベンションセンター
(3) 参加費：無料
(4) 定員：40名
- * 申込方法：懇親会、見学会とも、7月7日(水) 10：00～シンポジウム会場総合受付にてお申ください。
- * プログラムー土木学会海洋開発委員会のホームページにも掲載しています。
(<http://www.jsce.or.jp/committee/ocean/ocean.htm>)

《プログラム》

7月7日(水)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:00～9:10	開会挨拶				
9:15～10:23	波力	信頼性設計	環境と生物(1)	計画	設計(1)
10:35～12:00	越波	流れ・構造物	環境と生物(2)	漂砂	海域管理
12:00～13:00	昼休み				
13:00～14:42	耐震	海岸利用	環境と生物(3)	海浜変形	波と流れ
14:50～16:32	津波	レクリエーション	沿岸域環境	海岸侵食	数値計算
16:40～19:10	特別セッション1 来るべき大地震、津波に備えて	特別セッション2 海洋性レクリエーション			

7月8日(木)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:00～10:08	設計波	波浪推算	環境と生物(4)	沿岸域の環境	水
10:20～11:45	浸透波	砕波・流れ	環境と生物(5)	管理技術	流出油
11:45～12:40	昼休み				
12:40～14:05	消波ブロック	施工技術(1)	環境と生物(6)	漁港整備	浮体(1)
14:15～15:40	不規則波	施工技術(2)	環境と生物(7)	設計(2)	浮体(2)
15:50～17:15	廃棄物	環境技術		設計(3)	
	閉会挨拶				

1日目 7月7日(水)

第1会場

9:00-9:10

開会挨拶 海洋開発委員会委員長 高山知司(京都大学)

9:15-10:23

波力

座長:高橋重雄(港湾空港技術研究所)

- 1 ケーソンのフーチングに作用する抑圧力および揚圧力の検討
江崎 慶治・高山 知司・金 泰民・荒居 祐基
- 2 ケーソン防波堤の変形量評価における個別要素法の適用研究
本田 中・興野 俊也・安田 勝則・中瀬 仁
- 3 海中固定構造物に作用する波力と断面形状の関係に関する一考察
三倉 寛明・蟹江 俊仁・三上 隆・佐藤 太裕
- 4 EFFECT OF CAISSON TILTING ON SLIDING DISTANCE OF A CAISSON
Tae-Min KIM, Tomotsuka TAKAYAMA

10:35-12:00

越波

座長:木村克俊(室蘭工業大学)

- 5 確率的低気圧モデルを用いた越波量の確率評価
加藤 史訓・柴木 秀之・鈴山 勝之
- 6 護岸の保有性能評価に関する研究
長尾 毅・藤村 公宣・森屋 陽一
- 7 波返し付き傾斜護岸の越波流量特性に関する実験的研究
宮島 正悟・小椋 進・大橋 幸彦・森川 高德・奥田 純生
- 8 越波量に基づく傾斜護岸の許容沈下量算定手法
関本 恒浩・森屋 陽一・長尾 毅
- 9 高架橋波浪対策護岸における越波および水塊打上げ高の確率分布特性に関する研究
泉宮 尊司・中野 秀紀・石橋 邦彦

13:00-14:42

耐震

座長:長尾 毅(国土技術政策総合研究所)

- 10 既存港湾施設の耐震性向上に関する実験的研究
菅野 高弘・及川 研
- 11 矢板式係船岸の耐震性に関する実験および解析
塩崎 禎郎・菅野 高弘・小濱 英司
- 12 港湾構造物のレベル1入力地震動~関東地方~
長尾 毅・山田 雅行・野津 厚
- 13 重力式岸壁裏込め石の地震変形特性に関する現地調査
千葉 仁・中内 勲・中野 克彦
松本 浩史・先川 光弘・大塚 夏彦
- 14 羽田空港における地震動増幅特性と表層地盤S波速度構造の関係
長尾 毅・紺野 克昭
- 15 摩擦増大マットを用いたケーソン式防波堤の耐震性能に関する研究
尾崎 竜三・長尾 毅

14:50-16:32

津波

座長:藤間功司(防衛大学校)

- 16 既往地震時の行動シナリオから検討する災害時の港湾物流ネットワークの影響低減方策
岡本 修・小田 勝也・上田 倫大
- 17 津波水門の提案
田村 保・日根野 聰弥・西村 敬一・館 憲司
- 18 波浪計ネットワークによる沖合津波観測システムの構築と運用
永井 紀彦・小川 英明・額田 恭史・久高 将信
- 19 立体防災地図を用いた沿岸防災教育の試行
小野 悟・中野 晋・太田 昭信・天羽 誠二
尾崎 徳彦・松下 恭司
- 20 渥美半島太平洋岸の海岸利用の実態と津波防災に関する調査研究
青木 伸一・満園 優介・有田 守

16:40-19:10

特別セッション1 来るべき大地震,津波に備えて

オーガナイザー 今村文彦(東北大学)

- s 琉球列島における過去数千年間の古津波の襲来時期
河名 俊男・中田 高
 - s-1 津波による被害と教訓
藤間 功
 - s-2 海岸行政における津波対策について
須野 原豊・田所 篤博・山田 哲也
 - s-3 土佐の津波対策「サイン/ノコ・サイン」
酒井 浩一
 - s-4 環太平洋での津波対策の過去と現状 - 我が国の防災対策への教訓 -
今村 文彦
 - s-5 津波災害の予測技術の現状と将来
高橋 智幸
 - s-6 地震津波による臨海部の浸水危険度Web表示システムの開発
安田 誠宏・平石 哲也・永瀬 恭一・組田 良則
- パネル討論会:沿岸防災 - 来るべき大地震,津波に備えて

第2会場

9:15-10:23

信頼性設計

座長:関本恒浩(五洋建設)

- 21 消波ブロック被覆堤の滑動量に基づくレベル1信頼性設計法
吉岡 健・長尾 毅・森屋 陽一
- 22 ケーソン式防波堤の外的安定に関する安全性指標と感度係数の関係
吉岡 健・長尾 毅
- 23 セル式岸壁の最適断面設定方法に関する研究
長尾 毅・北村 卓也
- 24 防舷材反力の確率分布に関する研究
長尾 毅・佐貫 哲明・尾崎 竜三

10:35-12:00

流れ・構造物

座長:松見吉晴(鳥取大学)

- 25 鉛直平板のスリットで観察される定常流とその流向特性について
折橋 恒春・恩地 正憲・角野 昇八
- 26 北海道日本海沿岸の漁港における長周期波浪の影響について
伊東 公人・本間 隆・松田 斉久
湯口 雄司・戀塚 貴・三船 修司
- 27 渦流制御を利用する海水交換促進型防波堤の平面波浪場への適用について
大村 智弘・中村 孝幸・大井 邦昭・高橋 通夫
- 28 空港制限表面直下における新形式防波堤の開発
浦辺 信一・吉平 健治・白石 秀幸・梅木 康之
油谷 進介・手皮 章夫
- 29 複雑な海底地形に設置された長大防波堤の波力平滑化特性
福山 貴子・秋山 真吾・池谷 毅

13:00-14:42

海岸利用

座長:小島治幸(九州共立大学)

- 30 海岸保全工としての人工養浜の特性評価の試み
堀田 新太郎・久保田 進・針貝 聡一
- 31 旧沿岸域要塞における景観・空間の価値評価に関する研究
岡田 昌彰
- 32 石川県沿岸域における漂着・散乱ゴミの分析
布本 博・濱本 奈美・吉田 茂・矢内 栄二
- 33 人工磯の利用実態とその評価に関する現地調査
橋中 秀典・田中 賢治・島田 広昭
西澤 博志・中村 美香・井上 雅夫
- 34 湘南・鶴沼海岸の漁業体験型地曳き網について
柵瀬 信夫・葉山 一郎
- 35 沖縄における港湾を活用した自然体験学習・エコツアーの可能性について
石原 正豊・大田 操・大岡 秀哉・赤倉 康寛

14:50-16:32

レクリエーション

座長:清水隆夫(電力中央研究所)

- 36 人々の海岸の原風景を海岸整備に活用するための手法について
辻本 剛三・柿木 哲哉・角野 昇八
- 37 スペイン地中海沿岸のマリーナ施設と利用状況
奥園 英明
- 38 四国東部のサンゴ生息海域における環境改善方針についての検討
中野 晋・安芸 浩資・内田 紘臣
御前 洋・川口 始・小笠 義照
- 39 大森ふるさとの浜辺整備事業・事業実施と合意形成のプロセス -
里見 勇・藤澤 康文・五十嵐 美穂
中瀬 浩太・佐藤 政昭・小寺一宗
- 40 都市漁村交流推進に資する組織形成に関する考察
関 いずみ・林 浩志・押谷 美由紀
- 41 都市漁村交流活動の実態と振興のための課題について
押谷 美由紀・関 いずみ・林 浩志・西崎 孝之

16:40-19:10

特別セッション2 海洋性レクリエーション

オーガナイザー 津嘉山正光(琉球大学)

- s-7 沖縄県における環境と利用を考慮した海岸再整備の意義と可能性
古波蔵 健
 - s-8 沖縄における海洋性レクリエーションの現状と展望
柳生 徹夫
 - s-9 沿岸域におけるエコツーリズムの可能性と課題
小濱 哲
 - s-10 海洋性レクリエーションと観光政策
坂田 和俊
- パネル討論会:海洋性レクリエーション-地域振興,環境,安全を踏まえて海
のワイズユースを考える-

第3会場

9:15-10:23

環境と生物(1)

座長：矢内栄二（千葉工業大学）

- 42 エアレーション促進機能を併せ持つ反射波低減工の開発
中村 孝幸・佐藤 茂樹・小林 明夫・小野塚 孝・久保田 二郎
- 43 沖洲海岸におけるリュスハンミョウ幼虫の生息物理条件調査
中村 聡志・中川 康之・桑江 朝比呂
- 44 人工リーフを利用した藻場造成技術について
安藤 亘・岡野 崇裕・佐貫 宏・小野 浩二
伊藤 陽・石田 和敬
- 45 海陸風を含む模擬気象場におけるパフ・ブルームモデルを用いた大気汚染物質リスク評価モデルの検証
玉井 昌宏・有光 剛

10:35-12:00

環境と生物(2)

座長：中瀬浩太（五洋建設）

- 46 現地観測に基づく春季の谷津干潟におけるアオサの流入特性
矢内 栄二・早見 友基・五明 美智男
村上 和仁・瀧 和夫・石井 裕一
- 47 汽水及び内湾域における生態系の健全性評価モデルの開発
桑原 久実・齋藤 肇・秋田 雄大
- 48 海水交換型防波堤の現地導水量計測
本田 秀樹・塩崎 禎郎・堀内 博・森本 悟司
- 49 温度差エネルギーを利用した水素吸蔵合金アクチュエータ活用型海水交換装置の開発
長谷 一矢・渥美 洋一・井元 忠博
先川 光弘・松村 一弘・吉田 静男
- 50 東京湾口フェリーによる流況・水質・気象の自動計測手法の開発
鈴木 高二朗・加藤 英夫・下司 弘之・亀山 豊

13:00-14:42

環境と生物(3)

座長：村上和男（武蔵工業大学）

- 51 兵庫県丸山漁港自然調和型防波堤の生物相の変化
川嶋 憲・中村 秀一・綿貫 啓・廣瀬 紀一
伴登 昭夫・山本 慎一
- 52 水産系副産物（貝殻）の裏込材への有効利用に関する基礎的研究
- ホタテ貝殻を混合した砂の内部摩擦角 -
坪田 幸雄・佐伯 公康
- 53 泥質干潟における干潟走行機による耕耘（こうらん）の栄養塩類溶出効果に関する実験的研究
沼野 祐二・中泉 昌光・瀬戸口 喜祥・吉村 直孝
- 54 幼生の大量運搬によるサンゴ礁回復技術の開発（その2）
綿貫 啓・青田 徹・柴田 早苗・谷口 洋基・大森 信
- 55 半閉鎖性水域の海水交換に与える養殖施設の影響
蒔田 俊輔・佐伯 浩
- 56 人工海浜の護岸周辺におけるヤドカリ生息条件
中島 明日香・堀田 健治・宇多 高明・熊田 貴之・古池 鋼

14:50-16:32

沿岸域環境

座長：柵瀬信夫（鹿島建設）

- 57 人工海浜における海岸ゴミの実態調査
矢内 栄二・米田 規幸・矢島 秀二・本田 徳裕
- 58 三河湾における干潟・浅場造成を事例としたペイメントカードCVMの実施と必要サンプル数の推定
鈴木 武・山口 良永・赤石 正廣・河合 尚男
- 59 人工干潟造成工事にともなう干潟環境の変遷について
岡村 知忠・里見 勇・藤澤 康文・中瀬 浩太
佐藤 正昭・小寺 一宗
- 60 沿岸域の自然環境評価手法に関する研究
原 喜則・小島 治幸・入江 功・山城 賢
- 61 熱帯性藻場生育条件の把握の試み
川上 泰司・小早川 弘・溝口 忠弘
三島 京子・小島 大典
- 62 沖縄におけるサンゴ・マングロープ等の自然環境に配慮した漁港構造物について
中泉 昌光・我原 弘昭・田村 圭一
神里 守・池田 篤志・宮里 精有

第4会場

9:15-10:23

計画

座長：久保田 進（日本大学）

- 63 二次元有効応力解析法の解析精度向上に関する検討
小堤 治・塩崎 禎郎・一井 康二・井合 進・森 玄
- 64 繰り返し载荷を受けるパイプライン周辺地盤の間隙水圧応答について
高谷 富也・小河 史枝
- 65 浮遊物の消波特性と送水特性について
田中 博通・長津 安洋・真鍋 安弘
- 66 地域意見を反映した海岸保全計画の策定
田中 茂信・田中 浩充・永澤 豪
石河 雅典・熊谷 健蔵・嶋田 宏

10:35-12:00

漂砂

座長：小林昭男（日本大学）

- 67 深浅測量データ解析による平面漂砂量分布の簡易推定法
香取 完和
- 68 のり先が波に晒されて危険となった緩傾斜護岸の改善策
宇多 高明・野志 保仁・熊田 貴之
- 69 人工養浜に伴う海岸生物環境の変化とその問題点に関する調査研究
堀田 新太郎・カール ノードストローム
- 70 石狩湾大水深域における冬期の流動・漂砂機構に関する現地観測
本間 大輔・窪内 篤・先川 光弘・鈴木 晃浩・山下 俊彦
- 71 捨石式傾斜堤からの越波・透過漂砂量を考慮した港内堆砂予測手法について
板井 雅之・伊藤 裕・小林 正典
池野 正明・清水 隆夫・榊山 勉

13:00-14:42

海浜変形

座長：加藤史訓（国土技術政策総合研究所）

- 72 石狩湾新港周辺の海岸断面地形変化の再考察
戸巻 昭三・竹沢 三雄
- 73 構造物周辺における汀線変化を考慮した3次元海浜変形予測に関する研究
口石 孝幸・黒岩 正光・加藤 憲一
松原 雄平・野田 英明
- 74 波による海浜地形変化と透過性斜面内の流れ場に関する研究
馬 賢鎬・水谷 法美・江口 周・許 東秀
- 75 短期および長期における3次元海浜変形予測に関する一考察
黒岩 正光・口石 孝幸・山田 哲史
加藤 憲一・松原 雄平・野田 英明
- 76 保安林造成が海岸侵食に及ぼす影響 - 千葉県九十九里海岸の例 -
木村 久絵・星上 幸良・小林 昭男
宇多 高明 三浦 正寛 野志 保仁
- 77 相模川河口砂州と河口テラスの変形機構
宇多 高明・佐藤 勝・清田 雄司
渡辺 宗介・芹沢 真澄・古池 鋼

14:50-16:32

海岸侵食

座長：堀田新太郎（日本大学）

- 78 DRIMを用いた3次元漂砂制御に関する研究 - DRIMの応用配置法 -
山口 洋・小野 信幸・入江 功・村瀬 芳満・渡部 耕平
- 79 侵食域の前浜上における砂鉄層形成のメカニズム
宇多 高明・熊田 貴之・芹沢 真澄
星上 幸良・三波 俊郎・小林 昭男
- 80 三浦半島西岸に位置する秋谷海岸の侵食機構
宇多 高明・三浦 正寛・芹沢 真澄・三波 俊郎・熊田 貴之
- 81 検見川浜に見る緩傾斜護岸の建設による砂浜の喪失
宇多 高明・小林 昭男・酒井 和也
熊田 貴之・柴 誠・芹沢 真澄
- 82 バリ島西部ベンガンベンガン漁港の建設とそれに起因する下手海岸の侵食
宇多 高明・大須賀 豊・大中 晋・芹沢 真澄・古池 鋼
- 83 南太平洋島嶼国における海岸侵食と対策の課題
Paulo Vanualilailai・三村 信男

2日目 7月8日(木)

第1会場

9:00-10:08

設計波

座長：森屋陽一（五洋建設）

- 105 垂下版式低反射工の潮位による反射波低減効果の変動特性とその対策法について 中村 孝幸・佐伯 信哉・中山 哲蔵・大村 智宏
- 106 三重壁式カーテン防波堤の効果に及ぼす入射角と内部隔壁の影響について 中村 孝幸・中山 哲蔵・久保田 二郎
- 107 急勾配地形における遊水部付き消波工を有する堤体の越波・波圧特性について 大村 智宏・白土 和幸
- 108 マウンド上に設置されたフレア型護岸の水理特性に関する実験と数値解析 勝田 貴志・片岡 保人・塙 洋二・濱崎 義弘
竹鼻 直人・村上 啓介

10:20-11:45

透過波

座長：中村孝幸（愛媛大学）

- 109 複列配置の低先端型人工リーフに関する透過特性 井田 康夫・榎本 明子
- 110 透過式両面スリットケーソン構造の特性 早川 篤・加藤 幸輝・湯口 雄司・伊東 公人・戀塚 貴
- 111 スリットを有する多重鉛直平板構造物の周辺波動場解析 折橋 恒春・山野 貴司・岡崎 拓人・角野 昇八
- 112 上ヒンジ式カーテンウォールに関する実験的研究 河内 友一・高田 英明・大村 剛
- 113 消波用スクリーンを有する栈橋に作用する揚圧力に関する実験的研究 大中 晋・古賀 省二郎・志村 豊彦・五明 美智男

12:40-14:05

消波ブロック

座長：伊藤一教（大成建設）

- 114 消波機能と魚礁機能を有する新型被覆ブロックの安定性に関する研究 谷野 賢二・窪内 篤・井元 忠博・石川 浩希
柳沼 利信・時川 和夫
- 115 施工中の捨石マウンドの耐波安定性 藤原 隆一・大島 弘之・榎 正浩・松村 章子
- 116 膜式カーテンウォールに作用する波力に関する実験的研究 大島 香織・鶴飼 克臣・森屋 陽一・泉 雄士・松蔭 茂男
- 117 超急傾斜海岸上の防波堤に作用する波圧に関する実験的研究とその対策工の検討 林 浩志・中泉 昌光・中山 哲蔵
玉城 達也・小林 学・滑川 順
- 118 傾斜堤の維持管理における消波ブロックの変形と作用波力の関係について 柴崎 尚史・興野 俊也・安田 勝則・藤井 直樹

14:15-15:40

不規則波

座長：榊山 勉（電力中央研究所）

- 119 平行等深線海岸における航走波の変形 谷本 勝利・赤川 嘉幸・茂木 勇佑・Dam Khanh TOAN
- 120 不規則波による沿岸流速に及ぼす碎波モデル選択の影響 合田 良実
- 121 不規則波実験に必要とされる造波のための構成波数に関する考察 大野 賢一・松見 吉晴・児玉 広子・木村 晃
- 122 副振動に及ぼす波向きの影響 吉岡 洋・古倉 高志・高山 知司・芹澤 重厚
- 123 放水路中の越波伝達波について 東江 隆夫・伊藤 一教・灘岡 和夫

15:50-16:58

廃棄物

座長：小田勝也（国土技術政策総合研究所）

- 124 管理型廃棄物埋立護岸遮水シートの敷設面不陸に対する変形追従性 狩野 真吾・小田 勝也・吉田 誠・三藤 正明
- 125 海面処分場に適用可能な漏水検知システム（その5） 羽田 晃・五月女 洋・小久保 裕・柳橋 寛一
山崎 宣悦・後藤 知英
- 126 変形追従性遮水材料を用いた遮水壁構造に関する実海域実証実験 上野 一彦・山田 耕一・伊野 同・渡部 要一
- 127 管理型廃棄物埋立護岸に適用する根入れ式鋼板セルの遮水性 栗尾 健司・御手洗 義夫・山村 和弘
高橋 充・北村 卓也・別所 友宏

16:58

閉会挨拶 海洋開発委員会幹事長 友廣 勲（大成建設）

第5会場

9:15-10:23

設計(1)

座長：東江隆夫（大成建設）

- 84 大型船舶航行による沈埋函影響について 浦辺 信一・轟 正彦・前幸地 紀和
白石 悟・小堀 共生・中屋 行雄
- 85 那覇港航行安全の検討 浦辺 信一・轟 正彦・吉平 健治・後藤 嘉雄
- 86 波之上橋における塩害対策工について 浦辺 信一・轟 正彦・前幸地 紀和
- 87 安全・安心な水産物供給にむけた先導的な環境・衛生管理型漁港整備（標津漁港の事例） 中泉 昌光・大島 肇・岡 貞行・谷 伸二
鎌田 昌弘・若林 隆司

10:35-12:00

海域管理

座長：重松孝昌（大阪市立大学）

- 88 水質改善とバイオマス利用を目的とした波浪ポンプによる植物プランクトン捕捉法の開発研究 小田 一紀・影地 良昭・梶原 美里
- 89 海域水質環境の全国的相対比較 山城 賢・入江 功・山口 義幸・長山 達哉
- 90 巻上げに伴う再浮遊泥による栄養塩変動過程のモデル化に関する研究 永尾 謙太郎・日比野 忠史・村上 和男
- 91 海水ウラン採取用のモール状捕集材の作製と評価 瀬古 典明・玉田 正男・笠井 昇・吉井 文男・清水 隆夫
- 92 モール状捕集材を用いた海水ウラン捕集の実規模システムの検討 清水 隆夫・玉田 正男

13:00-14:42

波と流れ

座長：荒木進歩（大阪大学）

- 93 消波付親水性施設における警報システムの開発 山本 泰司・本間 大輔・井元 忠博・八柳 敦
加藤 康徳・徳野 孔人
- 94 自由落下式底質強度計による堆積物分布の簡易測定法の検討 中川 康之・渡邊 和重・谷川 晴一・黒田 祐一
- 95 GPSブイアレーによる波浪情報観測システム 柳 潤子・河口 信義・石田 廣史・出口 一郎
- 96 陸棚斜面が潮流におよぼす影響に関する研究 北村 康司・仲座 栄三・津嘉山 正光
玉城 幸治・S.M.B.Rahaman
- 97 CHARACTERISTICS OF TIDAL CURRENTS IN THE EAST SEA OF ISHIGAKI ISLAND,SOUTHWEST JAPAN S.M.B.RAHAMAN,Eizo NAKAZA,
Seikoh TSUKAYAMA and Yasushi KITAMURA
北村 康司・玉城 幸治
- 98 越波実験における風洞水槽内風速の現地風速への換算 山城 賢・吉田 明徳・橋本 裕樹
久留島 暢之・入江 功

14:50-16:32

数値計算

座長：大山 巧（清水建設）

- 99 人工リーフ周辺の底面流速の数値計算 小山内 和幸・南 将人
- 100 粒子法による波の遡上高の数値計算 仲座 栄三・津嘉山 正光・牧野 敏明
比嘉 真由美・渡久地 豊
- 101 台風来襲時における高潮即時予測の精度と課題 富田 孝史・河合 弘泰
- 102 周防灘沿岸域における海面上昇による浸水ポテンシャルの推算 土持 章・小島 治幸
- 103 捨石潜堤の変形と水理機能変化に関する研究 荒木 進歩・新島 宏・麓 博史・三好 宏和・出口 一郎
- 104 BEM-VOF結合解析法の構造物近傍波動場への適用 郷 曙光・山城 賢・吉田 明徳・井ノ口 洋平・入江 功

第2会場

9:00-10:08

波浪推算

座長：水谷法美（名古屋大学）

128 BASIC RESEARCH ON COMPARISON OF WAVE GROWTH BETWEEN THE PACIFIC OCEAN AND THE SEA OF JAPAN DUE TO ATMOSPHERIC DEPRESSIONS FROM THE VIEWPOINT OF SHIP OPERATION

Kenji SASA・Shinji MIZUI・Toshihiko NAGAI

129 局地気象モデルと第三代波浪推算法による瀬戸内海を対象とした海象情報数値データベースの構築

橋本 典明・松本 英雄・川口 浩二・松藤 絵理子・松浦 邦明

130 東京湾におけるWAMの波浪推算特性に関する検討

橋本 典明・川口 浩二・池上 正春・鈴山 勝之

131 ブシネスクモデルに適した砕波減衰モデル導入のための一考察

平山 克也・平石 哲也

10:20-11:45

砕波・流れ

座長：森 信人（大阪市立大学）

132 砕波帯内における戻り流れの鉛直分布の理論的表示法

平山 秀夫・本田 尚正

133 砕波帯内における水面過度の推定法に関する一考察

本田 尚正・平山 秀夫

134 密度成層領域に入射する表面波の非線形数値計算

柿沼 太郎

135 砕波に伴い波表面に形成される微小な凹凸の移動と渦構造に関する研究

鷲見 浩一・兼藤 剛

136 現地試験による流況制御ブロックの湧昇流発生効果の検証

矢野 真一郎・齋田 倫範・大原 正寛
石村 忠明・西ノ首 英之・小松 利光

12:40-14:05

施工技術(1)

座長：辻本剛三（神戸市立工業高等専門学校）

137 鉄鋼スラグを用いた浅場における海藻着生（藻場造成用鉄鋼スラグブロックの開発-2）

宮田 康人・沼田 哲始・高木 正人
高橋 達人・小山田 久美・小田 俊司

138 水産系副産物（貝殻）の土木資材としての利用にむけた環境影響の検討

清田 健・奥西 武・佐藤 準・佐藤 朱美
桜井 博・足立 久美子

139 貝殻利用による港内の底質悪化防止技術の開発

奥西 武・清田 健・桜庭 蔭蔵・岩淵 雅輝
佐藤 朱美・足立 久美子

140 気液スラグ流の発生メカニズムと流動周期特性について

幕内 真一朗・小田 泰正・小川 元
落合 実・北澤 賢次・遠藤 茂勝

141 スパー型浮体による洋上風車の動揺特性改善に関する研究

鈴木 英之・橋本 崇史・関田 欣治

142 密閉グラブ浚渫で発生する濁りの現地実験

松田 信彦・五明 美智男・松原 雄平・檜谷 治・黒岩 正光

143 外洋波浪進入海域における沈埋函の沈設

浦辺 信一・高良 哲治・伊是名 興治
羽田 宏・小崎 正弘・新明 克洋

144 沈埋函沈設工事における簡易的周期予測の試み

浦辺 信一・吉平 健治・後藤 嘉雄・森屋 陽一
大島 香織・羽田 宏

145 人工湧昇流マウンド造成のためのブロック投入管理

大野 嘉典・五明 美智男・浅沼 丈夫・川口 毅・平田 賢治

146 境港・江島大橋の整備における工程短縮の取り組みについて

松本 英雄・大村 武史・仙崎 達治

147 夏季石狩湾海域における流動・水温変動特性

山下 俊彦・隅江 純也・吉田 英雄・足立 久美子

148 2001年石狩川夏期大洪水時における流出物質特性と海域水質変動

山下 俊彦・梅林 司・奥西 武・山崎 真一

149 流水発生装置による閉鎖性海域の水質浄化について

金山 進・春谷 芳明・城野 清治・岡田 知也
佐々木 淳・廣海 十郎

150 高炉スラグと人工ゼオライトを原料とした窒素、リン同時吸着可能な多孔質担体を用いた覆砂機能に関する研究

上月 康則・河野 悠大・大森 稔寛・竹田 将人・村上 仁士

151 離れ島状に形成されたアマモ場の消長と波浪環境

座長：五明美智男（東亜建設工業）

9:00-10:08

環境と生物(4)

151 離れ島状に形成されたアマモ場の消長と波浪環境

森川 朗彦・高木 儀昌・寺脇 利信

152 水理模型実験による尼崎港の海水交換促進技術について

山崎 宗広・上嶋 英機・村上 和男

153 世代追跡型ホタテガイ個体成長モデルを組み込んだ浮遊-底生系連結生態系モデルの開発 - サロマ湖の漁場環境及び養殖許容量評価に関する新たな試み -

佐藤 達明・今津 雄吾・佐川 拓也

風間 隆宏・小形 孝・岡 貞行

154 関西国際空港2期空港島における早期被覆をめざした緑化工法について

北澤 壯介・天羽 淳貴・佐野 一三・高木 悌二・柴田 昌三

10:20-11:45

環境と生物(5)

座長：古川恵太（国土技術政策総合研究所）

155 人工的な泥質干潟の創出技術に関する基礎的研究

玉上 和範・五明 美智男・杉浦 琴

156 藻場移植における台風対策について

浦辺 信一・安次嶺 正春・川上 泰司
溝口 忠弘・笠原 勉・三島 京子

157 藻場造成機能を付加した沿岸構造物の藻場創出効果について

佐藤 朱美・足立 久美子・大澤 義之・岡元 節雄

158 沖縄県中城湾に位置する泡瀬干潟におけるサンゴ洲島の形成・変形特性

宇多 高明・菊池 昭男・三波 俊郎・芹沢 真澄・古池 鋼

159 過栄養化した閉鎖性水域に造成した干潟に作用する物理的攪乱の影響評価

石垣 衛・中村 由行・上月 康則・上嶋 英機

12:40-14:05

環境と生物(6)

座長：山下俊彦（北海道大学）

160 新潟西海岸における面的な防護による環境変化と付着生物および底生動物の関係について

池上 正春・渡邊 正一・先岡 良宏・岩村 俊平

161 3次元流動モデルによる八代海の潮流特性の解析

村上 啓介・上久保 祐志・古松 琢美・上原 功

162 自然調和型漁港における水産動植物の生息環境の創造に関する長期モニタリングとその評価

中泉 昌光・川合 信也・三浦 浩
佐々木 政博・野呂 隆行

163 水産系副産物（貝殻）の覆砂代替材としての有効活用に関する実験的研究

泉田 典彦・中泉 昌光・三上 信雄
米山 正樹・若松 純子・菊池 有

164 能取湖に形成される貧酸素水塊がホタテガイに及ぼす影響

瀬戸 雅文・金子 和恵・新居 久也

14:15-15:40

環境と生物(7)

座長：瀬戸雅文（福井県立大学）

165 河口干潟における底質変動要因の検討

中野 晋・宇野 宏司・古川 忠司・和田 高宏

166 岸壁付帯式テラス型海岸構造物によるムラサキガイ由来の汚濁負荷削減効果

三好 順也・上月 康則・森 正次・亀田 大悟
矢間 北斗・倉田 健吾・村上 仁士

167 横浜・野島海岸における積算平均流速の簡易計測と二枚貝類の分布

越川 義功・田中 昌宏・柵瀬 信夫

168 浜名湖における潮汐特性の経年変化に関する研究

有田 守・青木 伸一

169 人工基質を利用したフノリ増殖礁の開発

岡 貞行・笹 正雄・吉田 徹・下倉 政志
黄金崎 清人・鳴海 日出人

第4会場

9:00-10:08

沿岸域の環境

座長：栗山善昭（港湾空港技術研究所）

- 170 衛星データを利用したメコンデルタの地形特性の判読
三波 俊郎・宇多 高明・遠藤 秀文・芹沢 真澄・古池 鋼
- 171 圧電振動子による飛砂粒子数の計測
保坂 幸一・鷗飼 正志・久保田 進・小栗 保二
- 172 沿岸環境監視における衛星データの活用戦略の提案
東 俊孝・大林 成行・齋藤 喜代子・大地 正高
- 173 日本海沿岸での飛来塩分の実地観測とその対策法の評価
山田 文則・細山田 得三

10:20-11:45

管理技術

座長：宮川昌宏（清水建設）

- 174 港湾構造物の魚礁材リサイクル利用について
末永 正次・山本 悟・笹田 正・森山 崇来・柴田 剛志
- 175 養殖ヒラメを事例とした携帯電話によるトレーサビリティシステムの開発
岡 貞行・清野 克徳・黄金崎 清人
若林 隆司・三上 貞芳・長野 章
- 176 管理型廃棄物埋立護岸の遮水性能に関する現地調査
熊谷 隆宏・西畑 剛・徳永 和幸・守谷 公一
金子 清美・山田 晃章
- 177 環境浚渫工法の汚濁発生調査事例と水質モニタリング手法の提案
佐藤 昌宏・車田 佳範・守屋 典昭
上原 大摩・滝上 英孝・酒井 伸一
- 178 コンテナヤードを走行するトレーラーの燃料消費量推計モデルの構築
村野 昭人・鈴木 武

12:40-14:05

漁港整備

座長：大塚夏彦（北日本港湾コンサルタント）

- 179 水産関係試験研究機関の集積による産学官連携効果について（新長崎漁港の事例）
岡 貞行・古屋 温美・田添 伸・長野 章
- 180 漁業生産流通方式と漁港の分散・集約整備について
古屋 温美・岡 貞行・芝井 穰・長野 章
- 181 マングローブを利用した自然共生型漁港整備（ジャカルタ漁港の事例）
岡 貞行・折下 定夫・長野 章
- 182 有明海河川内漁港における浚渫土（軟弱土砂）の漁場造成等への有効利用に関する研究
沼野 祐二・中泉 昌光・瀬戸口 喜祥・山田 和弘
- 183 天然幼稚魚や放流魚の滞留、生育場を創出する漁港施設の開発
中泉 昌光・川合 信也・押谷 美由紀
萱野 泰久・古村 振一・小畑 泰弘

14:15-15:40

設計(2)

座長：辻 清（日本港湾コンサルタント）

- 184 掘込み式漁港における掘削土砂を活用した防風壁の効果に関する風・飛塵観測調査
我原 弘昭・中泉 昌光・坂井 隆行・小原 正寛
山里 勲・玉城 達也
加藤 恵子
- 185 護岸の設計手法に対する一研究
- 186 長崎県対馬東海域人工海底山脈築造に伴うADCP観測流向・流速結果及び流動特性に関する考察
山本 省吾・熊谷 隆宏
- 187 富士海岸における養浜砂の波による沖方向の移動実験 - 養浜砂の埋没 -
伊藤 政博・大江 謹司・小島 和也・山下 隆男
- 188 気球とデジタルビデオカメラを用いた浅海域の拡散係数の推定
重松 孝昌・小池 敏也・矢持 進

15:50-16:58

設計(3)

座長：大久保 寛（新日本製鐵）

- 189 「数値波動水路」を用いた風力発電塔に作用する波力の評価
関山 直樹・新井 信一・長尾 昌朋・上岡 充男
- 190 浮体式風力発電施設の係留のための平板型アンカーに関する貫入模型実験とその解析
関田 欣治・吉成 岳彦・鈴木 英之・大川 豊
- 191 風を受ける洋上風力発電施設の耐震性及び防振対策に関する模型実験とその解析
関田 欣治・吉成 岳彦・山下 篤・林 伸幸・矢後 清和
- 192 代替燃料創出を目指した浮体式風力発電施設に関する基礎的研究
大川 豊・矢後 清和・太田 真
山田 義則・高野 宰・関田 欣治

第5会場

9:00-10:08

氷

座長：友廣 勲（大成建設）

- 193 海水移動によるコンクリート製海洋構造物の磨耗量の推定法と磨耗対策
竹内 貴弘・中澤 直樹・三上 隆・渡部 靖憲・佐伯 浩
- 194 ウォータージェットの利用による氷の除去に関する実験的研究
高橋 喜一・宇佐美 宣拓・柴田 俊夫
近藤 浩文・石川 亮・佐伯 浩
- 195 海洋構造物に作用する局部氷圧力の分布形状
竹内 貴弘・赤川 敏・中澤 直樹・木岡 信治・佐伯 浩
- 196 Ice Scour Eventにともなう地盤内の変形・発生応力に関する基礎的研究
木岡 信治・石川 亮・窪内 篤・佐伯 浩

10:20-11:45

流出油

座長：富田孝史（港湾空港技術研究所）

- 197 真空吸引式油回収装置の研究
藤田 勇・吉江 宗生・佐藤 栄治・水谷 雅裕
佐野 正佳・不動 雅之
- 198 円形水路による流出油・海水分離システムの開発
近藤 浩文・石川 亮・米田 克幸・大塚 夏彦・佐伯 浩
- 199 流出油対策のための重油エマルジョンの超音波洗浄実験
佐藤 栄治・吉江 宗生・藤田 勇

12:40-14:05

浮体(1)

座長：関田欣治（東海大学）

- 200 大型矩形浮体の長周期動揺について
木村 晃・藤井 秀和
- 201 Experimental Study on Interaction between Waves and Submerged Floating Breakwater Supported by Perforated Plates
Norimi Mizutani, Md. Ataur Rahman and Hiroyuki Shimabukuro
- 202 完全没水係留浮体の結合共振特性について
佐藤 太裕・蟹江 俊仁・三上 隆・小室 達明
- 203 係留索の周期的変動張力による水中係留浮体の動的不安定性
佐藤 太裕・小室 達明・蟹江 俊仁・三上 隆
- 204 高い消波性能を有する浮防波堤の開発と平面波浪場における効果
中村 孝幸・中山 哲蔵・大村 智宏・浅井 威人・武村 尚徳

14:15-15:40

浮体(2)

座長：新井信一（東北工業大学）

- 205 浮体利用型人工地盤の鉛直地震動時における安全性に関する検討
池末 俊一・上田 茂・石井 元悦
熊本 直樹・日下 理・大輝 聡
- 206 係留船舶の長周期動揺低減システムの水理模型実験による検証
米山 治男・白石 悟・佐藤 平和
- 207 三次元PTVを用いた係留漁船の動揺の現地観測
佐藤 典之・渡部 靖憲・秀島 賢保・近藤 浩文・佐伯 浩
- 208 漁船の荷役における許容動揺量と許容波浪条件について
佐藤 典之・清野 克徳・佐伯 浩
- 209 大型浮体を構成する浮体要素間の微小間隙内における流体共振特性とその発生条件
斎藤 武久・瀬戸 徹・Guoping MIAO・石田 啓